

豊後大野市立千歳中学校 【ICT活用の実際、自己存在感の場、板書の構造化、教材・教具の工夫、自立した学習者の育成】

1. ICT活用の実際、自己存在感の場



挿絵の投影

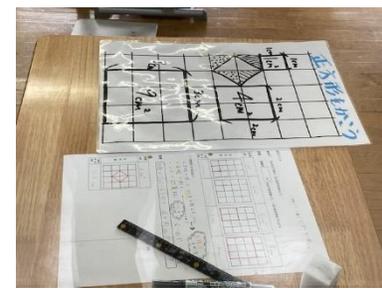


生徒の考えを投影



投影した画面を利用⇒発表

2. 板書の構造化、教材・教具の工夫



ラミネートシートとワークシート

3. 自立した学習者の育成



生徒会活動の取組

班の振り返り、ヘルスポイントチェック



1. 国語科の授業では、教科書の挿絵をテレビに拡大・投影し、生徒の理解を促すために工夫されていました。また、数学科の授業では、担当教師がタブレットを持ち、生徒の考えを投影させたり、生徒が自分の考えが投影されているテレビ画面を使って、教室の前で発表する場が設定されていました。
2. 数学科の授業では、生徒の考えを位置づけた板書が整理され、構造化された板書がされていました。また、教具やワークシートが用意され、指導上の工夫が適切に行われていました。
3. 毎月、生徒会専門部が振り返りを行い、次の月の取組の設定及び改善するサイクルが確立されていました。また、班の振り返りやヘルスポイントチェックの取組による個人の生活習慣の振り返りも実施されていました。